

## 笑いあり涙ありのエンターテインメント話芸！ 講談と落語のつどい

4月28日、熊石相沼母と子の家で、「講談と落語のつどい」が開催され、参加者約40名が講談と落語の世界を楽しみました。地域の皆さんに大声で笑ってもらおうと、第2相沼町内会が主体となって企画し、八雲町のアマチュア落語家東家きむちさんをはじめ、東京の講談師田辺鶴遊先生や函館市の講談師荒到夢形先生を招いて開催されました。オレオレ詐欺を題材にした創作落語や人形を使った腹話術のほか、東京オリンピックを題材にした講談では流れるような話芸の数々が披露され、会場からは笑い大きな拍手が沸き起こっていました。



## 新校舎で勉強意欲の向上！ 八雲高校新校舎建て替え

八雲高校の新校舎（産振特別教室・商業科目教室）が3月に完成し、4月から八雲高校の生徒が新校舎で勉強を行っています。

現在八雲高校の生徒数は普通科・総合ビジネス科を含めて294名が在籍しており、日々勉強を行っています。

また、これまで使用していた旧校舎につきましては、7月から12月までに取壊しを行い、現在は入ることができない状況であるとのことでした。



## 植樹10周年記念！ 平成30年度 八雲町「協働の森」植樹

5月19日、黒岩地区町有林で東陽建設株式会社が実施主体の「協働の森」植樹祭が開催されました。平成21年度から続く「協働の森」植樹祭は今年度で10年目を迎え、これまでにトドマツ1,100本、計0.5haの植栽を行ってきました。

この日の植樹祭には35名（うち、子ども10名）が参加し、開会式では、岩村町長より感謝状と記念品（木で作った壁掛け時計）が贈呈されました。参加者は雨が降る中、トドマツがしっかり根付くよう、一生懸命植樹をしていました。



## 未来の八雲の電力を担う！ ソフトバンク八雲ソーラーパーク起工式

5月16日、山崎・花浦地区に設置される太陽光発電所「ソフトバンク八雲ソーラーパーク」工事の起工式が執り行われました。この太陽光発電所は、出力約102MW、年間予想発電量が一般家庭2万7,968世帯分の年間電力消費量に相当する約1億68万2,000kWh/年の発電を行う、蓄電池併設型太陽光発電所としては国内最大規模の発電を行うメガソーラー発電所です。今後、2020年中の運転開始を目指し工事が進められます。

